

動物実験委員長殿

飼養保管施設実地調査報告書

飼養保管施設の名称：

その届出番号：

上記の場所：

調査日時： 年 月 日 時 分～

調査担当：(委員) (事務)

本学動物実験規程第 14 条の 5 及び第 15 条(飼養保管施設の要件)の内容に従い、当該飼養保管施設について以下の通り調査を行った。

- 動物管理者がおかれているか
- 動物種や飼育数に応じた飼育設備があるか(ケージおよびそれを収容するラック等)
- ※ 飼育動物の生理的特性に合った環境を維持する設備・構造であるか
 - 温度
 - 湿度
 - 換気
 - 照明
- ※ 衛生設備等
 - 床や壁が容易に清掃、消毒可能な構造か
 - ケージや給水ビンなど、飼育器具の洗浄や消毒を行う設備(流し、消毒槽、オートクレーブなど)が設けられているか
- ※ 動物の逸走防止
 - 部屋や飼育器具の構造は動物が逸走しないものであるか
 - 部屋の出入口には動物の逸走防止措置がされているか(ねずみ返しの場合、高さは 40 cm 以上)
 - 合計して二重以上の逸走防止措置がとられているか
- ※ 周囲環境への配慮
 - 臭気(周囲に臭気がこもらない対策)
 - 騒音
 - 廃棄物の処理方法(本学の分別基準に従っているか)

・結果： 当該飼養保管施設は動物実験規程第 15 条を(満たす / 満たさない)

・「条件を満たさない」場合に行った改善指導の内容

・上記指導の履行についての再確認日： 年 月 日

・調査作業(再確認を含む)完了の確認： (担当委員のサイン)